

植物（在来種）

種名	エゾキスゲ
漢字名	蝦夷黄菅
科名	ユリ科
学名	<i>Hemerocallis lilioasphodelus</i> <i>var. yezoensis</i>

名前の由来

菅は葉がスゲ類の葉に似ることから。北海道に分布する黄色い菅という意味。夕方に咲くためユウスゲ(夕菅)という別名もある。

特定種

該当なし

分布

国外分布	南千島に分布する。
国内分布	北海道に分布する。
北海道内分布	全道的に分布すると思われるが、詳細は不明。
十勝地方生育状況	海岸や高原の草地に生育する。平野部の草地でも見られる。しばしば群生する。

特徴

形態的特徴	高さ 40～80cm になる。葉は無毛で細長く、根元から斜めに多数で（根生）。茎（花茎）は直立し、茎頂に黄色でラッパ状の花を数個つける。花序の枝は長く、個々の花はまばらに茎頂につく（二出集散花序）。花は朝開花して夕方にはしぼみ、毎日異なる花を次々と咲かせる。
類似種	エゾカンゾウ
区別点	エゾカンゾウの花は橙黄色、花序の枝は短く、個々の花は根元で密接している。花は朝開花して夕方にしぼむ。

生活史

生育環境	海岸や高原の草地に生育する。平野部の草地でも見られる。しばしば群生する。
開花時期	5月中旬～7月
開花までの年数	不明
寿命	多年草
他の生物との関わり	花には虫が訪れる。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
開花期						—————						
結実期						—————						

興味深い話

食用として花やつぼみ、若芽が用いられる。アクがなくいため料理しやすく、おひたしやあえもの、てんぷらなどにして食べる。

配慮事項

生育場所である海岸や高原の草地、原野全体が重要である。

参考文献 文献名、著者、出版社、発行年

改訂版 牧野新日本植物圖鑑 牧野富太郎 北隆館 1989

北海道植物図譜 滝田謙讓 自費出版 2001

日本の野生植物 草本 佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社 1982

新版 北海道山菜実用図鑑 山岸喬・山岸敦子 北海道新聞社 1992